

和企下管 第 168 号
令和 8 年 3 月 13 日
(2026 年)

和歌山市 企業局
下水道部 下水道管理課長

質 問 回 答 書

令和 8 年 3 月 1 1 日付けで質問のあったことについて、次のとおり回答します。

年 度	令和7年度
工 事（業 務）番 号	第25190028号
工 事（業 務）名	管路施設改築実施設計業務委託その 3
工 事（業 務）場 所	和歌山市手平 1 丁目地内から小雑賀 2 丁目地内まで
質 問 事 項	
(1) 特記仕様書（管路施設調査）に以下の記載がありますが、内容は先行目視調査やTVカメラ調査を実施し記録する必要があると読み取れます。設計内訳書では上記調査は見込まれていないと見受けられますが、既往の調査結果を整理するということでしょうか？ ----- 本調査は設計の根拠となるものであるため、クラック量（長さ等）、大口径に流入する管きょや取付管の口径および数、継手ズレの段差量、管更生においては前処理が必要な箇所、既設構造の調査等を受注者において確認・判断できる者により行い、設計に直結する項目は、写真等により客観的に証明できる精度で記録すること。 ----- (2) 機能耐久調査工の圧縮強度試験、中性化試験の方法はどのように想定されているのでしょうか？ ①圧縮強度試験：コア抜き、中性化試験：コアで実施	
(1) 本業務における管路施設調査は、既存の潜行目視調査結果に基づき既往の調査結果を整理するだけではなく、本業務での工法等の選定や設計に必要となる管路施設の劣化状況、堆積物、支障物件等の有無などを管渠内調査において定量的に把握するものであり、【設計・測量】委託業務設計書 設計内訳書 の下水道施設設計業務委託内で既設管調査により見込んでおります。 (2) 圧縮強度試験はシュミットハンマー、中性化試験ははつりを想定していますが、既設管調査を行い劣化状況等の把握をしたうえで、調査員に試験方法を協議し構造物への影響も踏ま	

②圧縮強度試験：シュミットハンマー、中性化試験：はつりorドリル法 ※鉄筋探査工が1スパンに3か所を見込まれていますが、コア抜きの場合は、1スパンに6か所を見込む必要があると考えます。 (3)管更生の設計にあたり、施工条件の判断のため流況（流量、水深、流速等）を把握する必要がありますが、観測データはあるでしょうか？無い場合は、本業務で流量調査を実施する必要があるでしょうか？	え適切な試験を行ってください。 なお、本業務には当初設計時点では鉄筋探査工は見込んでありませんが、必要がある場合は調査員と協議してください。 (3)機器計測による観測データはなく、本業務の既設管調査内において調査時水位（ポンプ場稼働影響ある場合は稼働前・稼働後の水位）・管底高・管渠断面等を確認し施工条件の判断を検討したうえで、工法選定等において機器計測による流量調査を実施する必要がある場合は、調査員と協議してください。
--	--